



TALK THEME

嚥下障害への 対策法について (後編)

ゆかわ歯科クリニック 湯川健先生

Q 直接訓練の種類とは？

A 「直接訓練」は、主治医の許可を得た上で、体調が安定していること、嚥下反射があること、リスク管理ができていること、口腔内が清潔であることを確認し、有資格者指導のもとで行います。用いる食品は、ゼリーやとろみのついた液体を冷やして使います。まず、飲み込みのイメージトレーニングを行い、その後嚥下がスムーズに行く方法を探りながら「訓練」していきます。方法としては「姿勢のコントロール」「嚥下動作の工夫」「咀嚼」と大きく3つに分けられます。

Q 具体的にはどういった訓練をしますか？

A 「姿勢のコントロール」では、軽く顎を引く「頸部前屈」、首ごと麻痺側に向ける「頸部回旋」、麻痺側を上にする「片側嚥下」、重力を利用して送り込む「リクライニング」の4種類。「嚥下動作の工夫」では、舌を上あごに押しつける「努力嚥下」、一口に対して複数回嚥下する「複数回嚥下」、性状の違うものを交互に取る「交互嚥下」、吸ったあと息を止めて嚥下する「息こらえ嚥下」の4種類。「咀嚼」では、食べ物を歯の面にのせ、舌を動かす「咀嚼訓練」です。この中から、患者さんにあった方法を組み合わせて安全に嚥下できるよう「訓練」していきます。

教えて 歯 医 者 さん

歯にまつわる
いろいろな情報を届けます

89.7 MHz

毎週月曜日の13時台FM東広島で放送中

7月21日13時台の出演は、
第二数本歯科医院・数本文先生に聞いていきます。